

第2学年 保健体育科 学習指導案

指導者 邑南町立羽須美中学校 三上真倫

1 単元名 球技（バドミントン）

2 単元の目標

- (1) バドミントんに積極的に取り組むとともに、話し合いに参加することができるようにする。
【関心・意欲・態度】
- (2) 自己やチームの課題に応じた練習方法を選択し、相手の特徴を踏まえた作戦や戦術を選択することができるようにする。
【思考・判断】
- (3) ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって、空いた場所をめぐる攻防を展開することができるようにする。
【技能】
- (4) バドミントンの技術の名称や行い方や、関連して高まる体力について正しく理解できるようにする。
【知識】

3 基盤

(1) 教材観

球技は、ゴール型、ネット型及びベースボール型などから構成され、個人やチームの能力に応じた作戦を立て、チームで協力して得点したり防いだりしながら、勝敗を競うことに楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。

バドミントンは、1対1や2対2でネットを挟んで相手と向かい合い、ラケットを操作して様々な打球を打ち、いかに相手コートに落とすか、そして得点を重ねていくかを競い合う「ネット型」の運動であり、攻守の切り替えが非常に速いという特徴がある。バドミントンは、色々なストロークを使ってラリーを続けたり、相手を惑わす打球（緩急をつけた打球や相手を前後左右に揺さぶる打球）を打って得点を競い合ったりする楽しさがある。また、相手の特徴を分析して作戦を考えたり、対戦した相手や自分のチームの特徴を考えて作戦を考えたりするなどの楽しさもある。これらの特徴を生かすことで、活動への興味・関心をもたせ、意欲的に運動させることができると考える。バドミントンでは、シャトルを遠くに飛ばしたり、高く打ち上げたりする中で投力を養うことができる。また、ラケットを操作していろいろな打球を打ったり、相手からのいろいろな打球に応じて返球したりする中で巧緻性も養うことができる。さらに、空いた場所に打たれた打球を返球したり返球後に定位置へ素早く戻ったりする中で敏捷性や瞬発力を養うことができる。

(2) 生徒観 ～省略～

(3) 指導観

本校では、球技の領域のネット型については、第1学年ではバレーボール、第2学年ではバドミントンを取り扱う予定としている。バドミントンの第2学年では、ラリーを続けることを重視して、シャトルやラケットの操作と定位置に戻るなどの動きによる空いた場所をめぐる攻防を展開できるようにする。指導に際しては、空いた場所への攻撃を中心にラリーを続ける学習課題を追求しやすいよう、プレイヤーの人数、コート広さ、用具、プレイ上の制限を工夫したゲームを取り入れながら行うことが大切であると考え。プレイヤーの人数では、シャトルやラケット操作に慣れるため、はじめは1対1のラリーからスタートし2対2へと発展

させて行く。コート of 広さでは、定位置に戻りやすいよう比較的狭い範囲から行う。また、コート of 横幅を狭くすることで、前後のスペースを使った攻撃の感覚も身につけさせたい。用具では、ねらったところに打てるように、柄を天井に向けた傘を設置し、それを目掛けてストロークの練習をするなど、興味関心が高まるような工夫をしていく。プレイ上 of 制限を工夫したゲームでは、ラリーを続けるためにスマッシュを禁止したり、攻撃側と守備側を決めてからゲームを行うなど、生徒が学習 of ねらいを明確にできるよう工夫していく。単元 of 後半では、高めた技能を生かし、自己や相手チーム of 特徴を踏まえた作戦や戦術を選ぶことができるようにする。そのため、戦術カードを準備したり、簡易ゲーム of 中でどのような戦術が有効だったかを話し合ったり、フォーメーション of 図を掲示したりしながら、生徒たちが自分たちに適した作戦や戦術を選択できるような手立てを準備しておく。班編成は、学び合いが活発なるよう、スキルテスト等を参考にしながら、2人1組 of 等質 of 4班編成とする。さらに、仲間で学び合う班活動を毎時間取り入れ、課題 of 気づきを記入するため学習カードを効果的に活用していく。

4 単元 of 評価規準 ○：1年 of 評価規準 ●2年 of 評価規準 ◎1・2年 of 評価規準

①運動への 関心・意欲・態度	②運動についての 思考・判断	③運動 of 技能	④運動についての 知識・理解
<p>◎球技 of 学習に積極的に取り組もうとしている。</p> <p>○フェアなプレイを守ろうとしている。</p> <p>○分担した役割を果たそうとしている。</p> <p>●作戦などについての話し合いに参加しようとしている。</p> <p>●仲間 of 学習を援助しようとしている。</p> <p>○健康・安全に留意している。</p>	<p>○ボール操作やボールを持たないときの動きなどの技術を身につけるための運動 of 行い方 of ポイントを見付けている。</p> <p>○自己やチーム of 課題を見付けている。</p> <p>●提供された練習方法から、自己やチーム of 課題に応じた練習方法を選んでいる。</p> <p>○仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた協力 of 仕方を見付けている。</p> <p>●学習した作戦や戦術から自己や相手チーム of 特徴を踏まえた作戦や戦術を選ぶことができる。</p> <p>○学習した安全上 of 留意点を他の練習場面や試合場面に当てはめている。</p>	<p><ボールや用具 of 操作></p> <p>○サーブでは、ボールやラケット of 中心付近でとることができる。</p> <p>○ボールを返す方向にラケット面を向けて打つことができる。</p> <p>●相手側 of コート of 空いた場所にボールを返すことができる。</p> <p>●見方が操作しやすい位置にボールをつなぐことができる。</p> <p>●テイクバックをとって肩より高い位置からボールを打ち込むことができる。</p> <p><定位置に戻るなどの動き></p> <p>○相手 of 打球に備えた準備姿勢をとることができる。</p> <p>●プレイを開始するときは、各ポジション of 定位置に戻るることができる。</p> <p>●ボールを打ったり受けたりした後、ボールや相手に正対することができる。</p>	<p>○球技 of 特性や成り立ちについて、学習した具体例を挙げている。</p> <p>●技術 of 名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。</p> <p>●球技に関連して高まる体力について、学習した具体例を挙げている。</p> <p>○試合 of 行い方について、学習した具体例を挙げている。</p>

5 指導計画と評価計画（全11時間：本時9／11）

（1）指導と評価計画

時間	学習のねらい	おもな学習活動	評価規準（評価方法）
1	<p>○ルールやポジションの名称、役割について理解する。</p> <p>○バドミントンの試合のイメージをつかむ。</p> <p>○学習に積極的に取り組もうとすることの重要性を理解する。</p>	<p>○オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・VTR学習 ・既習の確認（ルール確認） 	<p>○技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。</p> <p>【知・理①】 （学習カード）</p>
2	<p>○バドミントンに親しむ。</p> <p>○見方が操作しやすい位置にボールをつなぐことができる。</p>	<p>○スキルテスト（バック・フォアストローク、サーブ、スマッシュ）</p> <p>○試しのゲーム（シングルス）</p>	<p>○球技の学習に積極的に取り組もうとしている。</p> <p>【関・意・態①】 （観察）</p>
3	<p>○基本的なラケット操作を身に付ける。</p> <p>○仲間の学習を援助しようとする。</p>	<p>○ラケット操作①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラケットの握り方 ・シャトル打ち上げ ・ミニラリー（ネットなし） <p>○ラリーゲーム（1対1）</p>	<p>○見方が操作しやすい位置にボールをつなぐことができる。</p> <p>【技②】 （観察）</p>
4	<p>○基本的なラケット操作を身に付ける。</p> <p>○ボールを打ったり受けたりした後、ボールや相手に正対することができる。</p>	<p>○ラケット操作①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンダーハンドストローク ・オーバーヘッドストローク ・サイドアームストローク <p>○体やラケットの構え方</p> <p>○ラリーゲーム（2対2）</p>	<p>○仲間の学習を援助しようとしている。</p> <p>【関・意・態③】 （観察）</p>
5	<p>○基本的なラケット操作を身に付ける。</p> <p>○プレイを開始するときは、各ポジションの定位置に戻ることができる。</p>	<p>○ラケット操作①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラリードリル <p>ハイクリア・ハイクリアー ドライブ・ドライブ</p> <p>○サーブゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サーブ練習（ロング・ショート） 	<p>○ボールを打ったり受けたりした後、ボールや相手に正対することができる。</p> <p>【技⑤】 （観察）</p>
6	<p>○定位置に戻るなどの動きを身に付ける。</p> <p>○テイクバックをとって肩より高い位置からボールを打ち込むことができる。</p> <p>○試合の行い方について学習する。</p>	<p>○ボールを持たないときの動き</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポジション（定位置） ・フットワーク <p>○ラケット操作②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマッシュ <p>○簡易ゲーム（シングルス）</p>	<p>○プレイを開始するときは、各ポジションの定位置に戻ることができる。</p> <p>【技④】 （観察）</p>

7	<p>○基本的なラケット操作を身に付ける。</p> <p>○自己やチームの課題を見つける。</p> <p>○作戦などについての話し合いに参加する。</p> <p>○提示された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選ぶ。</p>	<p>○ラケット操作②</p> <p>・スマッシュ、ブッシュ、ヘアピン</p> <p>○課題別練習</p> <p>・自己やチームの課題についての話し合い</p> <p>・フォーメーション、戦術、作戦</p> <p>○簡易ゲーム（シングルス）</p>	<p>○提示された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。</p> <p>【思・判①】 （学習カード） （観察）</p> <p>○テイクバックをとって肩より高い位置からボールを打ち込むことができる。</p> <p>【技③】 （観察）</p>
8	<p>○基本的なラケット操作を身に付ける。</p> <p>○自己やチームの課題を見つける。</p> <p>○相手側のコートに空いた場所にボールを返すことができる。</p>	<p>○ラケット操作②</p> <p>・ラリードリル</p> <p>○ピグ・スマッシュ ○ピグ・ドロップ</p> <p>○課題別練習</p> <p>・自己やチームの課題についての話し合い</p> <p>・フォーメーション、戦術、作戦</p> <p>○簡易ゲーム（ダブルス）</p>	<p>○作戦などについての話し合いに参加しようとしている。</p> <p>【関・意・態②】 （学習カード） （観察）</p>
9 本時	<p>○学習した作戦や戦術から自己や相手チームの特徴を踏まえた作戦や戦術を選ぶことができる。</p> <p>○習得した技能を試合で発揮する。</p>	<p>○ラケット操作②</p> <p>・ラリードリル</p> <p>○課題別練習</p> <p>・自己やチームの課題についての話し合い</p> <p>・フォーメーション</p> <p>・戦術、作戦</p> <p>○簡易ゲーム（ダブルス）</p>	<p>○学習した作戦や戦術から自己や相手チームの特徴を踏まえた作戦や戦術を選ぶことができる。</p> <p>【思・判②】 （学習カード） （観察）</p>
10	<p>○習得した技能を試合で発揮する。</p> <p>○自己やチームの課題を見つける。</p>	<p>○課題別練習</p> <p>○スキルテスト</p> <p>○グループ別対抗戦（リーグ戦）</p>	<p>○相手側のコートに空いた場所にボールを返すことができる。</p> <p>【技①】 （観察）</p>
11	<p>○習得した技能を試合で発揮する。</p> <p>○関連して高まる体力を理解する。</p>	<p>○課題別練習</p> <p>○グループ別対抗戦（リーグ戦）</p>	<p>○バドミントンに関連して高まる体力について、学習した具体例を挙げている。</p> <p>【知・理②】 （学習カード）</p>

(2) 指導内容及び「学習活動に即した評価規準（第2学年 球技：バドミントン）」

運動への 関心・意欲態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
<p>【指導内容】</p> <p>上達するためには、繰り返し取り組むことが大切であることを理解し、バドミントンに親しみながら活動すること。</p> <p>↓</p> <p>①球技の学習に積極的に取り組もうとしている。【評価規準】</p> <p>↓</p> <p>チームなどの課題の解決に向けて、自らの考えを述べるなど積極的に話し合いに参加しようとする。</p> <p>↓</p> <p>②作戦などについての話し合いに参加しようとしている。</p> <p>↓</p> <p>練習の際に、球出しなどの補助をしたり、チームの作戦や戦術などの学習課題の解決に向けて仲間に助言したりすること。</p> <p>↓</p> <p>③仲間の学習を援助しようとしている。</p>	<p>【指導内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 具体的な練習方法の提示。 技術の名称や具体的な行い方や活用方法の提示。 <p>↓</p> <p>①提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。【評価規準】</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> 空いている場所を攻撃したり、空いている場所を作りだしたりして攻撃をする作戦や戦術の例示を提示。 チームの特徴に応じた作戦について話し合う場面の設定。 <p>↓</p> <p>②学習した作戦や戦術から自己や相手チームの特徴を踏まえた作戦や戦術を選ぶことができる。</p>	<p>【指導内容】</p> <p>グリップ、ステップ、ラケットの使い方、相手のポジションを見ながら打ち分けること。</p> <p>↓</p> <p>①相手側のコートにボールを返すことができる。【評価規準】</p> <p>ラリーを続けることを重視し、相手に返球する位置やスピードをコントロールすること。</p> <p>↓</p> <p>②見方が操作しやすい位置にボールをつなぐことができる。</p> <p>肩より肘を高く上げ、高い打点でボールをとらえること。</p> <p>↓</p> <p>③テイクバックをとって肩より高い位置からボールを打ち込むことができる。</p> <p>プレイが始まる前に、フォーメーションに合ったそれぞれの定位置に戻る。</p> <p>↓</p> <p>④プレイを開始するときは、各ポジションの定位置に戻るることができる。</p> <p>返球した後のバランス、相手の返球に備えた体やラケットの構え方。</p> <p>↓</p> <p>⑤ボールを打ったり受けたりした後、ボールや相手に正対することができる。</p>	<p>【指導内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ラケット操作では、ボールを返す方向に、ラケット面を向けて打つこと。 ストロークでは、相手側の空いた場所にボールを返すこと。 ポジショニングでは、ボールを打ったり受けたりした後、ボールや相手に正対すること。 <p>↓</p> <p>①バドミントンの技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。【評価規準】</p> <p>↓</p> <p>ネット型では、巧緻性、敏捷性、スピード、持久力などが型に求められる動きに関連して高められること。</p> <p>↓</p> <p>②バドミントンに関連して高まる体力について、学習した具体例を挙げている。</p>

(3) 学習過程と評価機会とその方法

次	第1次		第2次							第3次	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
学習活動	10	オリエンテーション	共通メニュー(コート準備、集合、整列、授業のねらいや流れを確認、準備運動)								
	20	VTR学習	ラケット操作① ・ラケットの握り方 ・シャトル打ち上げ ・アンダーハンドストローク ・オーバーヘッドストローク ・サイドアームストローク ・サービス			ボールを持たないときの動き					課題別練習
	30	スキルテスト	ラリーゲーム(1対1)	ラリーゲーム(2対2)	サービスゲーム	試合の行い方の学習	課題別練習 ・ラケット操作の反復 ・フォーメーション練習 ・戦術確認、作戦タイム			スキルテスト	グループ別対抗戦
	40	試しのゲーム				簡易ゲーム シングルス	簡易ゲーム ダブルス			グループミーティング	
			共通メニュー(振り返り、次回の課題等、片づけ)								

評価方法	関・意・態	①	①	③	③			②	②			
	思・判							①		②		
	技能		②	②	⑤	⑤④	④③	③	①		①	
	知・理	①										②

●指導機会 ○評価:関心・意欲・態度については、指導をしてから一定期間おいてから評価する

6 本時の学習

- (1) ねらい 自己や相手チームの特徴を踏まえた作戦や戦術を選ぶことができる。【思・判②】
- (2) 準備 ラケット、シャトル、ネット
- (3) 展開

過程	学習活動	●教師の支援 ☆評価
導入 5分	○集合、整列、挨拶、健康観察 ○準備運動 ○本時の学習内容を知る	●健康状態を観察し、体調の悪い生徒については無理をさせないように配慮する。 ●本時の流れと課題を知らせ、見通しをもって学習できるようにする。
展開 30分	○ラリードリルを行う。 ・ペアで4種類のラリーを行う。 バック・バック ピン・スマッシュ ドライブ・ドライブ ピン・ドライブ・バック・バック	●ラリーが続くように、相手が操作しやすい位置にボールをつなぐよう声をかける。 ●ラリーが続かないペアには個別に助言をする。

自分たちで作戦や戦術を立てよう！！	
<p>○作戦や戦術の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 7種類の戦術を提示する。 ・ ペアで話し合いの時間を持つ。 <p>○簡易ゲーム（ダブルス）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4ペアのリーグ戦を行う。 ・ 得点は11点マッチ <p>※対戦ごとに、作戦タイムの時間をとる。</p> <p>○本時のまとめを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ リーグ戦の反省を行う。 ・ ペアごとに自分たちの考えた作戦や戦術を発表する。 	<p>●戦術カードやフォーメーションの図を参考にしながら、話し合いをするよう声をかける。</p> <p>●ルールやマナーを再確認し、ゲームがスムーズに行えるよう声をかける。</p> <p>●対戦ごとに、ゲームの反省を生かしながら作戦や戦術を工夫できるよう声をかける。</p> <p>☆自己や相手チームの特徴を踏まえた作戦や戦術を選ぶことができる。【思・判②】</p> <p>●ペアで本時の振り返りをするよう声かけをする。</p>
<p>終末 5分</p> <p>○教師の評価を聞く</p> <p>○整列・挨拶</p>	<p>●ねらいを達成した生徒の例を挙げ、次時への意欲付けを図る。</p>

(4) 本時の評価

	十分満足できると判断される生徒の具体例	概ね満足できると判断される生徒の具体例	支援を必要とする生徒への指導の手当て
運動についての 思考・判断	自己や相手チームの特徴を踏まえた作戦や戦術を適切に選択している。	自己や相手チームの特徴を踏まえた作戦や戦術を選んでいる。	作戦や戦術を選ばない生徒には、戦術カードやフォーメーションの図を参考にしよう助言する。

7 本時の視点

- ・ 作戦や戦術を選ぶために、戦術カードやフォーメーションの図は有効であったか。